

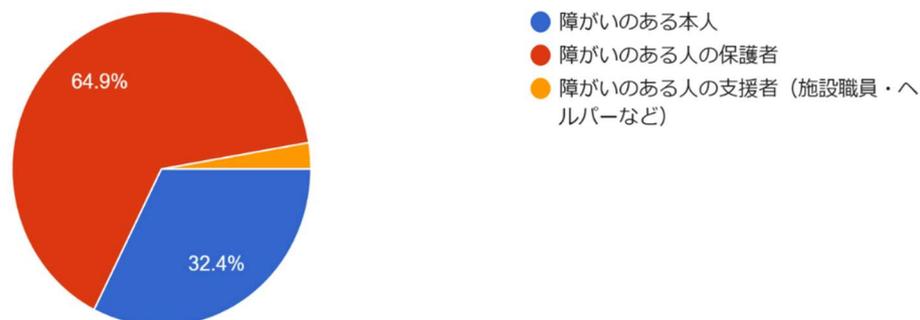
2024 衆議院選挙アンケート集計結果

知的・発達障がいのある子をもつ保護者で組織する浜松市浜松手をつなぐ育成会では、2024年10月27日投票の衆議院選挙について、障がいのある人の投票状況についてアンケートを実施しました。アンケートは Google フォームで作成し、育成会公式 LINE 等を利用して会員内外に周知し実施しました。

アンケート実施期間 : 2024年11月20日～12月15日
アンケート回答数 : 37回答
アンケート実施者 : 浜松市浜松手をつなぐ育成会
浜松市中央区早出町 815-3
jimukyoku@hamamatsu-ikuseikai.net

1 アンケートにお答えいただくのはどなたですか？

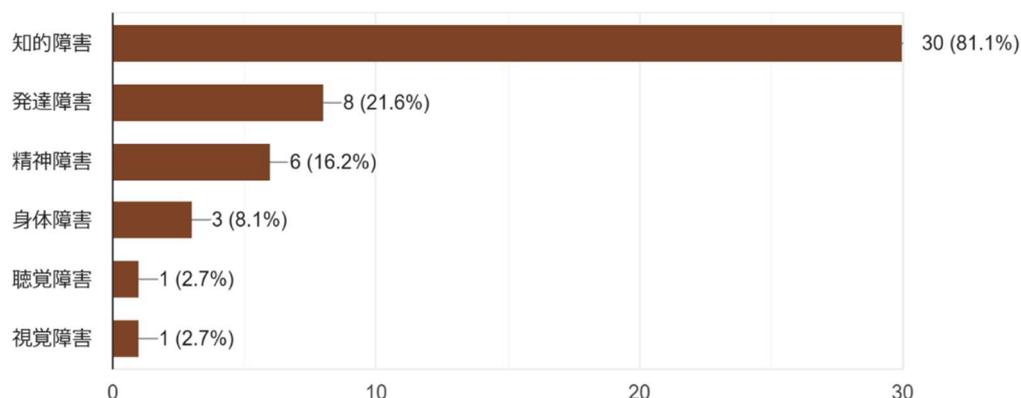
37件の回答



・約7割が本人以外の回答者となっている。

2 障がいのある人の障がいの種別を教えてください。（複数可）

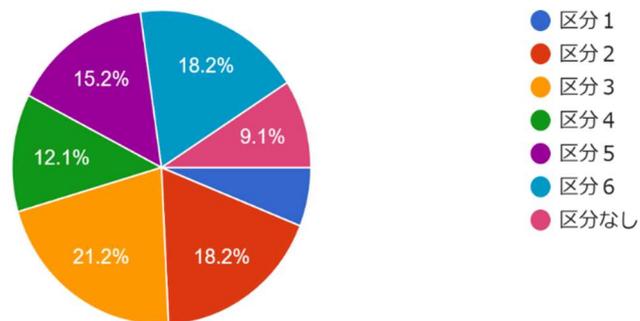
37件の回答



・知的・発達障害のある保護者の会を中心に回答をお願いしたため。

3 障がいのある人の障害程度区分を教えてください。

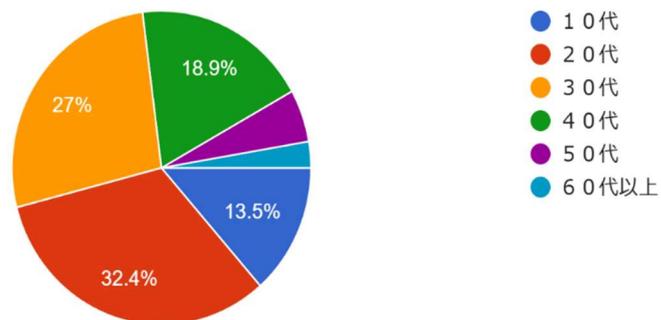
33 件の回答



- ・区分は比較的均等に分かれている。

4 障がいのある人の年齢を教えてください。

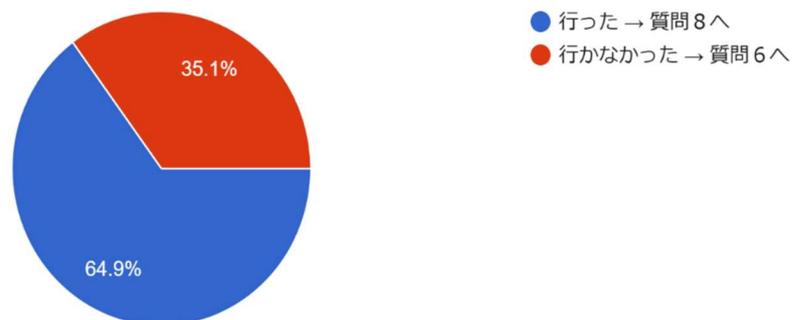
37 件の回答



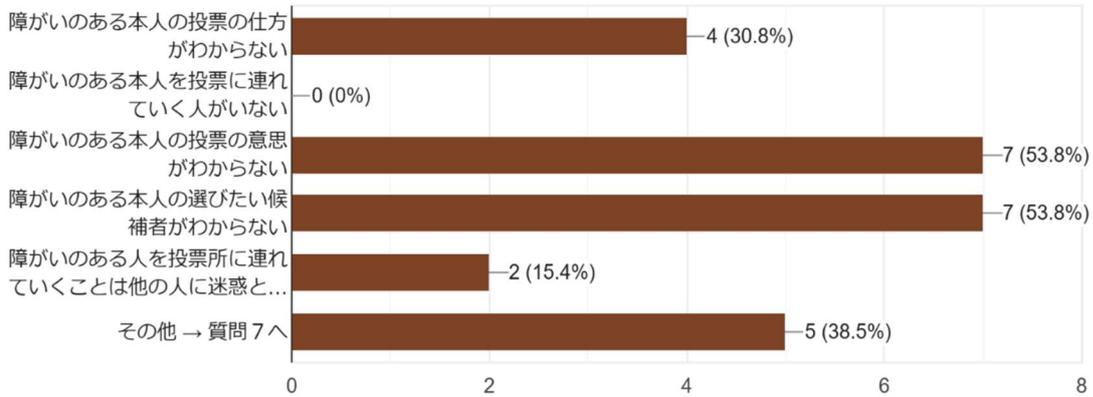
- ・20代・30代が約6割を占めている。
- ・50代以降は、同行者が高齢もしくは居ないため投票できない可能性がある。

5 衆議院選挙に行きましたか？

37 件の回答



6 5で行かなかった方にお聞きます。 行かなかった理由は？(複数選択可) → 質問9へ
13件の回答



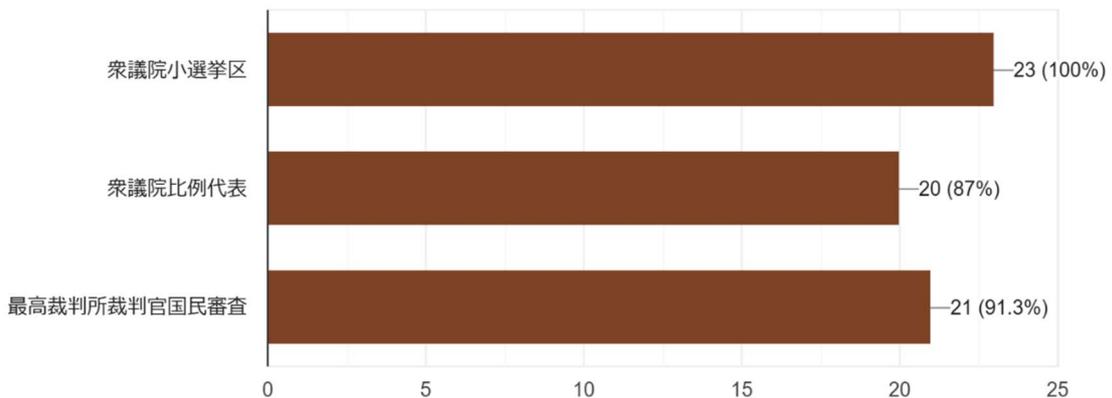
- ・本人の意思確認が難しいことが投票に行かなかった理由となっている。

7 質問6でその他と回答した方の回答

行きたくない、選挙に興味を持ってない、投票所の雰囲気が無理
コロナに感染したので(これまでは、必ず投票しています)
連れて行ったが逃げ出したため
混み過ぎていた
こじんてきにいそがしいかつたから

8 投票したのは以下のどれですか？(複数可)

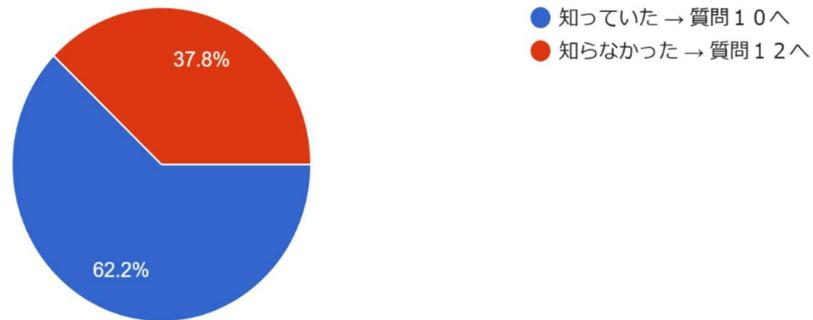
23件の回答



・

9 浜松市浜松手をつなぐ育成会が、候補者をやさしい日本語で紹介したものを作成したことを知っていましたか？

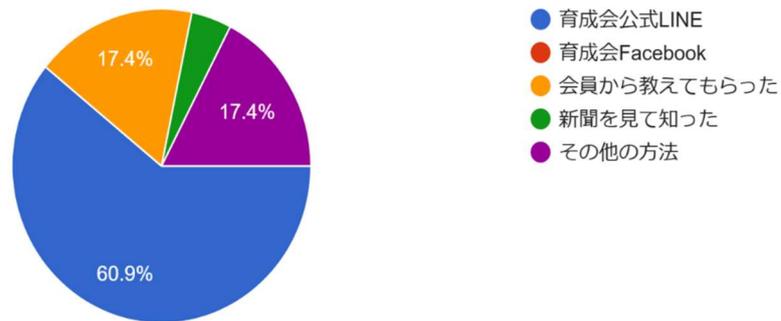
37 件の回答



・周知の期間は短かったが、約 6 割にお知らせすることが出来た。

10 9で知っていたと答えた方にお聞きします。何で知りましたか？

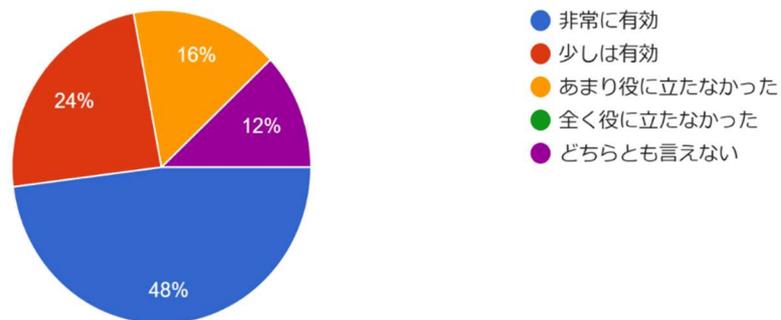
23 件の回答



・SNSの効果が大きいことがわかる。

11 9で知っていた方は、この取り組みは役に立ったとお考えですか？ → 質問 13へ

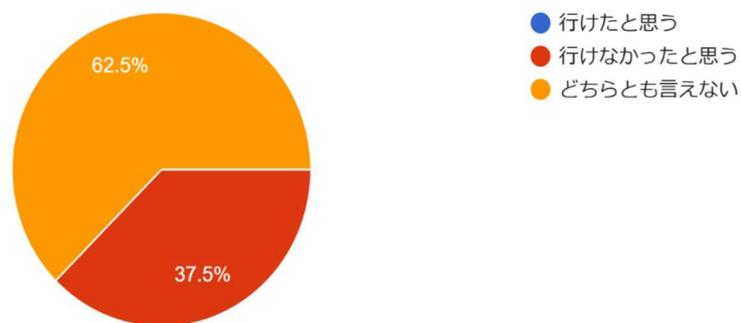
25 件の回答



・約 7 割が有効であったとの回答。

12 9で知らなかった方で選挙に行かなかった方にお聞きします。事前に知っていたら、選挙に行けたと思いますか？ → 質問16へ

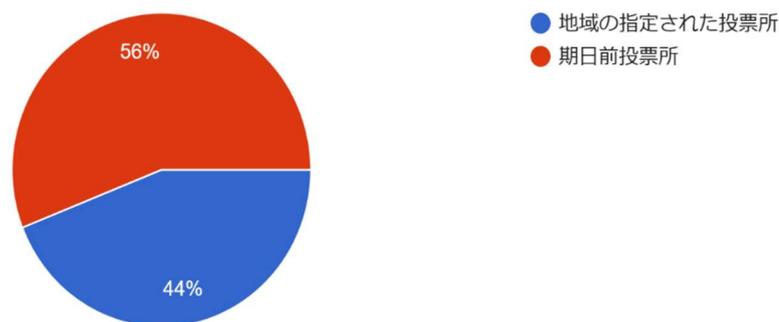
8件の回答



- ・行けたと思う人は居なかった。
- ・意思確認が難しい本人の場合には、効果があるとは言い切れない。

13 どこで投票しましたか？

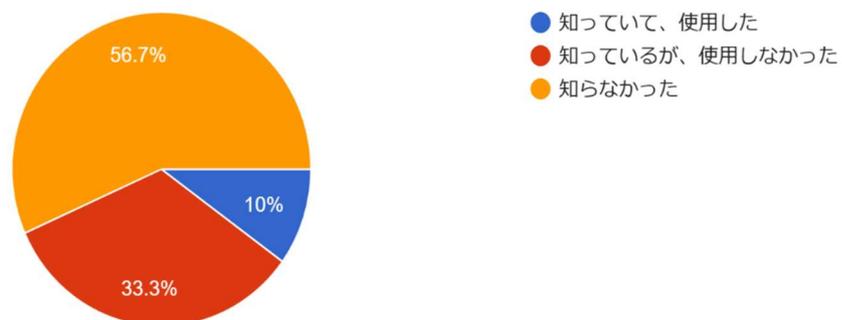
25件の回答



- ・期日前投票所の利用が過半数。地域の投票所より安心感があるためか。

14 投票支援カードを知っていますか？また使用しましたか？

30件の回答



- ・知っていて使用したのは1割に留まっている。周知に課題があるのか。

15 投票の様子や良かったこと、困ったことなどを教えてください。

候補者をやさしい言葉で表現したサイトが見つからなくなってしまって困りました。子供に説明するのに使おうと思ったのですが。
作成して下さったやさしい日本語を印刷し、事前に選んだ候補者が見えるように折って手に持って投票に行きました 投票所で代理投票をお願いした際、支援に入っていた市職員の方の接し方が以前の方より優しく、落ち着いて投票できた 人が並んでいないにもかかわらず、入口までに(混雑時用)クネクネとテープが張ってあったが、ワープさせてくれた(他の方には自ら「障害のある方なのでご理解いただき、他の方はテープに沿ってお進みください」とアナウンスしてくれた)
雰囲気良くて勉強になりました。
投票自体が3回目でした。今回初めて事前に連絡しないで行ったが比較的スムーズでした。
選挙があるたびに、候補者の公約を新聞などで親が読み、それをかみ砕いて本人に伝えていました。なので、今回のやさしい日本語版はとてありがたかったです。 本人は、選挙ポスターなどから見た目で(インスピレーションで?)投票する人を選んでいたようですが、今回のやさしい日本語版では、党名なども意識して読むことができたので有効だったと思います。 期日前投票に行きましたが、支援の手を借りなくても、ゆっくりでしたが、本人が自分で投票することができました。 欲を言えば、候補者の紹介だけでなく、今回のように候補者名を書く→党名を書く→裁判官に×を付ける(わからなければつけなくても良い)という流れも示してもらえたら、良かったと思いました。
期日前投票だったので、投票する人が少なくスムーズに投票出来た。
自分で選んだ人を自分で書いて持って行き、それを見て書いて投票した。文字を書くのに時間がかかるため投票にも時間がかかってしまったが、管理の方はあたたかく見てくれていた。
事前に候補者の名前を練習試合する必要があるため、代理投票制度を利用しました。期日前投票会場では2人付いてくれました。スムーズにできてよかったです。
親のやる事を見て、又は経験を重ねて、流れは大丈夫ですが、誰の名前を書くか…については、「自分の思う人で良い」と伝えても、覗き込んで真似するので、それでいいのか気には、なります。
毎回参加している。最高裁国民審査はよくわからなかったようだった。
障害のある方の周りの意識も変わると思うから、良いことだと思う。
「知的障害があり介助をお願いします」と頼むと、きちんと対応していただきました。 本人は何度も違うところを指差していたので、投票の意味はわかっていないとは思いますが、選挙は参加させたいので、これからもこのようなスタイルでも投票に行こうと思っています。
お手伝いしてくれる人が待機していて 一緒にまわってくれた

- ・投票所での対応は、概ね好評。期日前投票所が過半数であったため、全ての地域の投票所でも同様に温かい対応が出来るようお願いしたい。
- ・複数の投票がある場合の流れを示す方法を検討する必要がある。

16 選挙に関するご意見等なんでもお書きください。

投票率が悪くてがっかりでした。
確かに今回のような簡単な言葉でのアプローチが有効な方はいると思います。大切な選挙権なので、工夫をすることで、選挙に参加できることは有意義だと思う。 ただ、どんなに工夫を凝らしても、理解できない、投票できない障害者も一定数いることもご理解いただきたい。 本人が理解できない抽象的な選挙、投票という行為を無理に行おうとすると、不正投票につながりかねない危険性があるのではないかと、心配が残る。投票しないというのも選択肢の1つだと思う。
やさしい日本語でわかりやすかったけれど、この候補者は育成会の会員や障がい者に対してどんなことをしてくれる人なのかはわからなかった 今回、比例代表と国民審査についてはどう教えたら良いのか難しかった
もっと選挙について勉強をしたいです。
まだまだ障害のある人の投票に関して、投票所側の理解が乏しいと感じます。障害の種別や重度の障害関係なく投票できる環境を整えて欲しい。
やさしい日本語版が当たり前になってくれるといいと思います。
そもそも選挙が何か分からないのに、投票は難しい。 毎回用紙が送られてくるので、1度辞めたいと聞いたら、それは無理だと言われた。毎回捨てるのが、凄いやだ。
本人がどの候補を選ぶかは難しいので、どうしても親が選んだ人になってしまいます。ただ、棄権するのはいけないと思いつつ投票に行っています。福祉は票にならないなんて言わせないように投票する人が増えて欲しいです。
無し
本人にとって期日前投票があっているようです。落ち着いて投票を終えることができました。
本人に選挙の意味がわからない以上、投票にさせる意味はない。その権利を保護者に委譲することができるように法整備して欲しい。
弱い立場の方も社会参加できる世の中になると健常者と言われる人も生きやすい優しさある社会になるのではと考えました。
投票したくなる人格の方が正直いない
もつと障害者理解できるこほうやつてください

- ・選挙の意味を理解し、自分で判断して投票するための手段・方法をできるだけ準備することが、選挙管理委員会の役目であると思う。
- ・逆に、選挙の意味が解らない障がい者が投票することに、意味が見いだせない。かと言って、投票に行かず、票を無駄にすることも抵抗がある。本人に代わって保護者・支援者が投票できるなど、票を無駄にしないで済む方法を法整備も含めて検討して欲しい。